

平成22年3月期 第2四半期決算短信(非連結)

平成21年11月10日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 さかい(旧社名 株式会社焼肉屋さかい)

コード番号 7622 URL <http://www.yakiniku.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 緒方 智

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長

(氏名) 平野 泰正

TEL 052-910-1729

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,111	△24.9	107	△69.2	104	△70.9	41	△88.6
21年3月期第2四半期	5,474	—	349	—	359	—	363	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	1.89	—
21年3月期第2四半期	17.80	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	5,124	2,181	42.6	97.03
21年3月期	5,516	2,083	37.8	94.50

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 2,181百万円 21年3月期 2,083百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,683	△24.4	201	△58.1	213	△56.7	70	△84.6	3.14

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 22,662,000株 21年3月期 22,227,000株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 181,320株 21年3月期 181,320株

③ 期中平均株式数(四半期累計期間) 22年3月期第2四半期 22,048,056株 21年3月期第2四半期 20,445,680株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、一部景気の持ち直しの動きがみられたものの、設備投資の大幅な減少や失業率が過去最高水準となるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、国民生活につきましても、一般消費者の節約志向が一層顕著にみられ、消費意欲が回復する兆しは見えないまま推移しております。

外食業界におきましては、一般消費者の内食志向の高まりによる外食機会の減少と、小売を含めた競合店との競争が激しさを増す一方で、例年になく天候不順に見舞われたことや、新型インフルエンザの流行、そして、外食チェーンでの0-157による食中毒の発生等も相まって、購買(外食)意欲が一層低下する厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境のもと、当社では当第1四半期から引き続き、「不況下においても選ばれる店舗」を目指し、商品及びサービスのブラッシュアップを継続してまいりましたが、加えてメニュー改定により低価格戦略にシフトするとともに、抑制気味であった販売促進活動を積極的に進めてまいりました。また、既存焼肉業態のリニューアル等、設備投資は3店舗にとどめ、商盛期の営業に集中することで、客数及び売上高の確保に努めてまいりました。しかしながら、値下げによって一時的に客単価の低下を招いたことや、客数も当初の計画値まで回復せず、大きな成果の獲得には至りませんでした。

なお、当第1四半期より展開しております新業態の「大阪カルビ」は順調に推移しております。とりわけ、東海地区1号店である春日井店においては、客数が開店2ヶ月間の平均で前年対比200%を超える好調な滑り出しをみせており、この成果を足掛かりとして低価格業態の育成とビジネスモデルの確立に繋げてまいります。

その結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高4,111百万円(前年同期比24.9%減)、営業利益107百万円(前年同期比69.2%減)、経常利益104百万円(前年同期比70.9%減)、四半期純利益41百万円(前年同期比88.6%減)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末における総資産は前事業年度末と比べ391百万円減少し、5,124百万円となりました。主な要因は有利子負債の返済に伴う現金及び預金の減少、商物流取引の移管に伴う売掛金の減少及び差入保証金の減少によるものであります。負債合計につきましては、前事業年度末と比べ489百万円減少し、2,943百万円となりました。主な要因は有利子負債の減少及び商物流取引の移管に伴う買掛金の減少によるものであります。純資産につきましては、前事業年度末と比べ97百万円増加し、2,181百万円となりました。主な要因は、第三者割当増資による資本金ならびに資本剰余金の増加及び四半期純利益の計上によるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、業績予想の修正をおこなっております。詳細につきましては、本日別途公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(簡便な会計処理)

① 一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期会計期間末の貸倒実績率が前事業年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前事業年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、事業年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

③ 経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理)

該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,613	85,891
売掛金	133,884	308,967
商品	21,743	22,186
原材料及び貯蔵品	25,488	36,574
その他	265,049	332,787
貸倒引当金	△36,502	△36,457
流動資産合計	451,278	749,951
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,353,076	1,361,727
土地	1,851,248	1,851,248
その他(純額)	236,480	237,167
有形固定資産合計	3,440,805	3,450,144
無形固定資産		
無形固定資産	76,678	77,316
投資その他の資産		
差入保証金	1,096,690	1,155,683
その他	326,534	352,579
貸倒引当金	△267,768	△269,614
投資その他の資産合計	1,155,457	1,238,649
固定資産合計	4,672,941	4,766,110
資産合計	5,124,219	5,516,061
負債の部		
流動負債		
買掛金	231,813	367,753
短期借入金	524,680	689,938
1年内償還予定の社債	156,000	—
1年内返済予定の長期借入金	178,290	774,620
未払法人税等	28,929	47,302
賞与引当金	7,900	11,130
閉店損失引当金	37,375	65,217
その他	328,545	452,354
流動負債合計	1,493,533	2,408,315
固定負債		
社債	624,000	—
長期借入金	456,580	623,070
その他	368,905	401,288
固定負債合計	1,449,485	1,024,358
負債合計	2,943,019	3,432,674

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成21年9月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,745,217	1,720,205
資本剰余金	105,412	80,400
利益剰余金	497,193	455,602
自己株式	△166,624	△166,624
株主資本合計	2,181,199	2,089,583
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	—	△6,196
評価・換算差額等合計	—	△6,196
純資産合計	2,181,199	2,083,387
負債純資産合計	5,124,219	5,516,061

(2) 【四半期損益計算書】
【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	5,474,179	4,111,605
売上原価	2,123,439	1,482,956
売上総利益	3,350,740	2,628,649
販売費及び一般管理費	3,001,286	2,521,151
営業利益	349,453	107,497
営業外収益		
受取利息	5,466	4,163
受取配当金	466	141
不動産賃貸料	69,673	89,930
協賛金収入	64,634	37,993
その他	2,875	6,847
営業外収益合計	143,117	139,076
営業外費用		
支払利息	43,705	25,041
不動産賃貸原価	71,468	88,896
支払手数料	16,623	3,187
その他	916	24,808
営業外費用合計	132,714	141,933
経常利益	359,856	104,640
特別利益		
固定資産売却益	1,000	9,836
投資有価証券売却益	4,917	—
貸倒引当金戻入額	24,389	1,801
特別利益合計	30,306	11,637
特別損失		
固定資産除売却損	655	1,117
減損損失	—	813
投資有価証券売却損	3,216	6,933
投資有価証券評価損	1,431	—
賃貸借契約解約損	2,250	—
閉店損失引当金繰入額	—	13,680
特別損失合計	7,553	22,545
税引前四半期純利益	382,609	93,733
法人税、住民税及び事業税	19,321	20,208
法人税等調整額	△712	31,934
法人税等合計	18,609	52,142
四半期純利益	363,999	41,590

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	382,609	93,733
減価償却費	117,312	87,917
減損損失	—	813
差入保証金償却額	16,033	14,061
賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,800	△3,230
閉店損失引当金の増減額(△は減少)	—	△27,841
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△24,389	△1,801
受取利息及び受取配当金	△5,933	△4,304
支払利息	43,705	25,041
固定資産除売却損益(△は益)	△344	△8,719
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,701	6,933
投資有価証券評価損益(△は益)	1,431	—
賃貸借契約解約損	2,250	—
社債発行費	—	20,115
売上債権の増減額(△は増加)	98,535	176,103
たな卸資産の増減額(△は増加)	31,949	11,528
仕入債務の増減額(△は減少)	△89,470	△135,940
未払消費税等の増減額(△は減少)	11,995	△41,966
預り保証金の増減額(△は減少)	△2,827	△2,126
その他	13,766	△74,365
小計	579,122	135,952
利息及び配当金の受取額	3,597	2,289
利息の支払額	△47,018	△24,437
法人税等の支払額	△38,739	△40,257
営業活動によるキャッシュ・フロー	496,962	73,546
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△174,454	△63,762
有形固定資産の売却による収入	1,000	10,000
投資有価証券の売却による収入	56,470	17,056
差入保証金の差入による支出	△8,360	△573
差入保証金の回収による収入	4,275	36,237
貸付金の回収による収入	6,468	2,725
その他	△3,944	△1,340
投資活動によるキャッシュ・フロー	△118,543	343

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	66,780	△165,258
長期借入れによる収入	170,000	—
長期借入金の返済による支出	△781,110	△762,820
社債の発行による収入	—	759,884
株式の発行による収入	—	50,025
財務活動によるキャッシュ・フロー	△544,330	△118,168
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△165,911	△44,278
現金及び現金同等物の期首残高	279,647	85,891
現金及び現金同等物の四半期末残高	113,736	41,613

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。